NIEしもつけ　ワークシート　下野新聞　㉘

高校生向け

年　組

戦意高揚や軍国主義排除
□映す県立高校歌

自律や民主 生徒の指標に

とちぎ戦後75年

（2020年8月19日付・下野新聞4面）

記事は加工しています

学校の理念や理想とする生徒像を盛り込む学校のシンボル「校歌」。戦前から多くの県立高の校歌が作られた。戦意高揚や軍国主義排除を目的とした校歌改作が行われ、現在の校歌に定着した。県内の校歌を通じて、戦争の時代を生きた人々の思いを考える。

三つの校歌を収めたCDと校歌が載った宇都宮高同窓会誌を見る藍原さん＝8月上旬、下野新聞社

宇高3曲目、「第2」は戦時下

1939（明治39）年創立の宇都宮高（宇高）の校歌は、3年に制定された。作詞は、わずか1年間、宇高に在籍した作家の藍原治さん（79）。

校歌（八千代節）によると、「第2」は戦時下に戦争精神の強調などを目的とした。「第1」は、男の気概、歌詞は「まずは男の気概」と、藍原さんは「なぜ、ではなぜ」と疑問を抱いたが、歌われた。

卒業生で同校の教諭を務めた藍原治さん（79）

藍原さんは「第2」は「天皇の為に戦争精神の強調などを目的とした。歌詞は「まずは男の気概」と、藍原さんは「なぜ、ではなぜ」と疑問を抱いたが、歌われた。

1942年（昭和17）年に作られた進修（第2校歌）は、「八千代節」とは違い、「第2」は戦時下の「まずは男の気概」と、藍原さんは「なぜ、ではなぜ」と疑問を抱いたが、歌われた。

自律や民主 生徒の指標に

1948年（昭和23）年、第1校歌は、現在の校歌である。作詞は、「宇高」出身の作家・新田次郎さんが作詞された。

そこには、理想や夢を語り、新たな時代を生きる力を切り開く意義を込めた。

「自律や民主、生徒の指標に」。

1948年（昭和23）年、第1校歌は、現在の校歌である。作詞は、「宇高」出身の作家・新田次郎さんが作詞された。

そこには、理想や夢を語り、新たな時代を生きる力を切り開く意義を込めた。

「自律や民主、生徒の指標に」。

「自律や民主、生徒の指標に」。

「自律や民主、生徒の指標に」